

活 用 事 例	宮崎市立国富小学校	水野宗市教諭
活用事例タイトル	高城紹介ポスターをつくろう	
対称授業科目/活動	総合的な学習の時間（４年生）	
授業または活動の概要（目的，実施時期，授業の場合教科名や単元名，対称学年，参加人数，ICTの使用局面など）	本活動は，高城地区を知らない人たちに「高城地区のよさ」を伝えるポスターを作成していく過程で，ふるさとである「高城地区」について振り返り，様々な手段で情報を集め，それをもとにＩＣＴを適切に活用しながら，ポスター形式で自分なりに工夫し構成してまとめるといった活動を通して情報活用の実践力と表現する力を培うことをねらいとして設定した。 ポスターとは，自分が伝えたい内容を選定し，画像と短い文章で効果的に表現することが大事である。ポスターに活用する文章は，長い文章ではなく短い言葉で「伝えたいこと」を表現する事が大事である。その点を導入段階できちんと整理し，学習を展開する。 本活動では，前単元「高城写真集をつくろう」で行った内容も取り入れる。今回は，前回と違い１枚の写真だけでなく，他の内容も取り入れながら「ポスター形式」で発表するという，別な表現方法でまとめることにする。そういった活動より，様々な表現方法をその効果の違いに気づけるようにする。また，前単元で行ったキャッチコピーの学習も活用しながら，自分が伝えたいことを言葉や文で相手にわかりやすく効果的に伝えるようにする。さらに，パソコンでまとめることにより，拡大コピーをしたり何枚も印刷したりして，活用することができることを知らせる。 このような学習を行うことによって，情報手段を適切に活用する力を育成し，自分なりの表現する力を養っていくことができ，本校の目指す「自分の思いを情報手段を効果的に活用して分かりやすく表現する児童」の育成につながると考える。また，発信する情報に責任を持っていくような指導も加えていくようにし，情報発信の大切さと同時に情報モラルについても指導していく。	

ICT活用により 期待できる効果 ICT活用のねらい	【パソコン】 ○ 構成を考えながら、画像を貼り付けることができるようになる。 ・ 画像を貼り付け、回転したり、拡大・縮小したりすることができるようになる。 ○ 文字入力ができるようになる。 ・ キーボードから行うことができる。 ・ キーボードが難しい児童はソフトキーボードを活用する。 ○ 文字の大きさ・形・色の工夫をするようになる。 ・ タイトル文字を活用し、様々な表現方法を知る。 【デジタルカメラ】 ○ デジタルカメラを活用して、撮影することができるようになる。 ・ イメージした通りの写真を撮影することができる。 ・ 表したいものが中心にくるように撮影することができる。 ・ 全体の暗さを考えながら撮影することができる。 【情報モラル】 ○ ポスターに使われている写真には「著作権」があることを知る。 ・ 自分が撮った写真を使うことが大事であることと著作権について知る。
評価，振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	○ 参観日で保護者に提示をして、どのポスターがよいかを選定したり、校内の先生方に感想を伺ったりして自分達が作成したポスターを評価してもらった。付箋に感想を書いてもらい、どの点がよくて、どの点が十分でなかったかを確認した。 自分達が作成した作品に対しては、各グループ（2人組）満足していた。 また、短い文章で表現することの難しさを体感することができた。表現するためには様々な言葉（語彙）を知ることが必要であることを感じていた。